

「平成29年度 流量観測講習会」を開催しました

【河川部 水災害予報センター】

流量観測は河川の各種計画の基礎データとなる重要な業務ですが、現在ではその業務のほとんどが外部委託であり、職員が現場で観測する事はほとんどなくなっています。そのため、受注者を指導できる技術を身に付けることを目的に、毎年流量観測講習会を実施しています。

講習会では、室内での講義の後、現地において河川の水位に合わせた流量観測の実習を行いました。実際に観測を行い、現場を知ることにより、流量観測の重要性、データの精度管理、安全管理等を習得できたものと思います。

今後の業務に役立てて、各職場において、より一層、活躍してくれることを期待しています。

開催概要

- ◆日 時：平成29年8月31日(木) 11時00分～16時00分
- ◆場 所：淀川三川合流域さくらであい館、宇治川及び木津川
- ◆受講者数：近畿地方整備局職員35名(うち新規採用者12名)
インターンシップ生 3名
- ◆概 要：流量観測に関する講義、観測実習(低水流観、高水流観)、
流量計算演習の概要

講義の様子



低水流観実習の様子



高水流観実習の様子



受講者の感想

- 式を見ているだけでなく、どのように観測しているのかを知った上でデータを見る重要性を感じた。
- 観測を実際に行うことで、流速の速さや測線による流速の違いがよく分かった。
- 風水害時の作業は危険が伴い、相当な苦労があることが分かった。

【問い合わせ先】

近畿地方整備局 河川部 水災害予報センター

〒540-8586 大阪府中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館7階 TEL:06-6942-1141(代)

